Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/09/12

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.69	0.03
JPY/THB	0.2368	0.0005
USD/JPY	142.36	-0.08
EUR/THB	37.16	0.07
EUR/USD	1.1012	-0.0008
USD/CNH	7.129	-0.006
SGD/THB	25.87	0.08
AUD/THB	22.48	0.09
USD/INR	83.98	0.00
USD Index	101.68	0.05

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.273	-0.011
10Y (THB)	2.549	-0.007
5Y (USD)	3.444	0.021
10Y (USD)	3.653	0.011

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,519.0	-0.5
WTI (Oil)	67.31	1.56
Copper	9,090.5	64.5

Stock

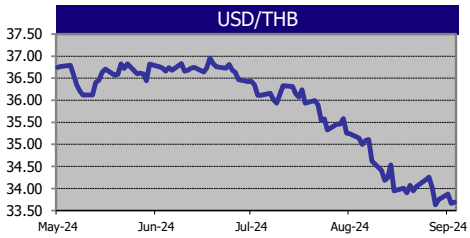
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,415.41	-12.62
NIKKEI (JP)	35,619.77	-539.39
DOW (US)	40,861.71	124.75
S&P500 (US)	5,554.13	58.61
SHCOMP (CN	2,721.80	-22.40
DAX(GER)	18,330.27	64.35

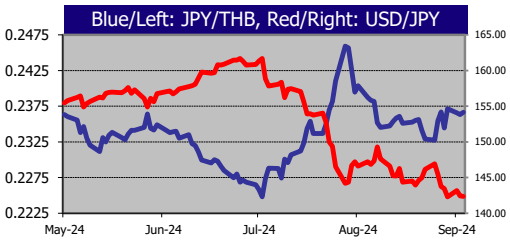
Fund Flow (Overseas Investors)

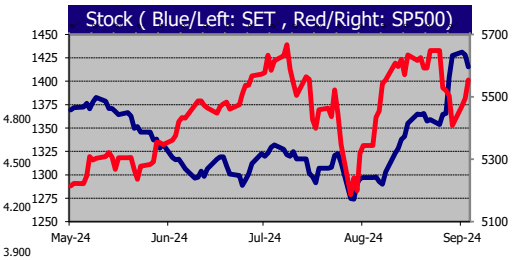
	Close	CHANGE
Stock net flow	2,680	2119.3
Bond net flow	2,863	3582.7

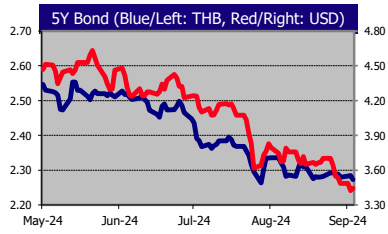
*compared with previous day

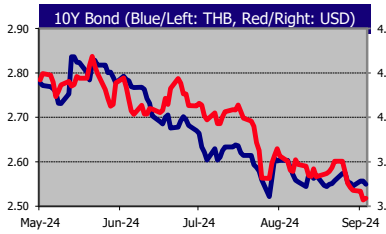
(Source: Bloomberg)

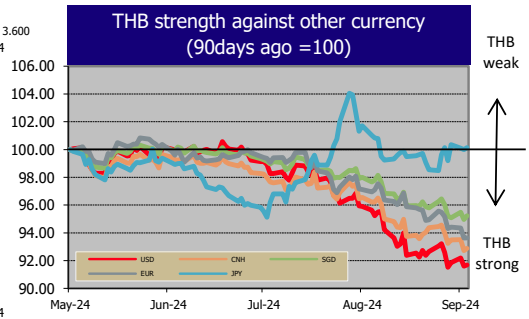


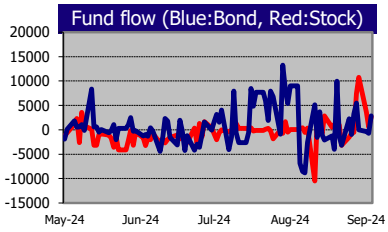


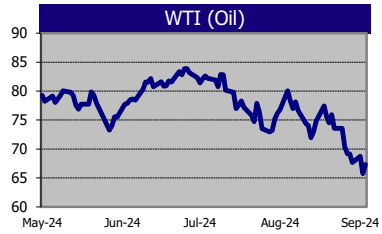












Yesterday's market summary

●ドルバーツ

昨日のドルバーツはほぼ変わらず。33バーツ台後半でスタート。米大統領選候補者討論会を受けてハリス氏優勢の見方が強まり、ドル売りが先行し、ドルバーツは一時33バーツ半ば付近まで下落したが、一巡後は値を戻す展開となった。その後は狭いレンジでの推移が継続したが、NY時間に入ると米8月コアCPIが予想を上回ったことを受けて、米金利の上昇とともに33バーツ台後半まで上昇。その後は米金利の動きに追随し上下する展開となり、33.69レベルでクローズ。

●ドル円その他

昨日のドル円は往ってこいの展開となった。142円台前半でスタート。東京仲値にかけてややドル買いが優勢となったが、その後米大統領選候補者討論会を受けてハリス氏優勢の見方が強まったことや、中川日銀審議委員の「経済・物価の見通し実現なら、金融緩和の度合いを調整」とのタカ派的な発言を受けて円買い優勢に転じ、ドル円は140円台後半まで下落。一巡後は値を戻す展開となり、欧州時間に141円台後半まで上昇した。NY時間午前中に米8月コアCPIが予想を上回ったことが確認されると、米金利の上昇とともにドル円は142円台半ばまで上昇。その後米金利が低下に転じ、ドル円は141円台前半まで反落するも、引けにかけて米金利の反発とともに再び142円台まで値を戻し、142.36レベルでクローズ。

Bangkok Dealer's Eye

昨日発表された米8月CPIは、概ね市場予想通りのインフレ鈍化を示す内容となった。これを受け来週のFOMCにおける利下げ幅予想は0.25%と0.50%で割れていた状態から0.25%との見方にほぼ収斂。かかる中で大幅な利下げを実施すれば逆に金融市場の動揺を招くことになるため、今次局面で初回の利下げとなる来週のFOMCは所謂通常の利下げ幅で始まると見込んで問題ないだろう。先物やスワップ市場で観測される年末までの予想利下げ幅も、昨日の経済指標結果を受けてやや縮小しており、現状1.0%程度、すなわち来週入れて年内3回のFOMCのうち、どこかで1回0.50%の利下げがあるとのパスが予想されている。来週のFOMCではドットチャートがどのように修正されるか及びそれを受けた金融市場の反応にも注目したい。また、本日は欧州でECB政策理事会が開催され、市場では中銀預金金利を0.25%利下げすることが確実視されている。欧州では今後2025年にかけて賃金水準が低下していくことが見込まれており、こちらは市場が現状予想する利下げペース以上に金融緩和が進む可能性は十分ありえる。ここからは米利下げ織り込み度合いの修正に加え、ユーロの軟調がドルを下支えするシナリオも意識しておく必要があるかもしれない。（吉田）

The report is prepared for the sole purpose of information only.It is not an invitaion to trade.The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.